

## 第2節 公的病院等の役割を踏まえた医療機関相互の連携のあり方

### 【現状と課題】

#### 現 状

- 1 国関係の病院の状況
  - 県内には、「国立長寿医療研究センター」を始め、国に関係する病院が9か所（平成28年10月1日現在）あります。
- 2 県所管の病院の状況
  - 病院事業庁所管の県立病院については、中期計画に基づき、高度で良質な専門医療を提供するため、診療機能の充実・強化と自立した経営基盤の確立に取り組んでいます。
- 3 各県立病院の状況
  - (1) がんセンター
    - ア 県がんセンター中央病院（名古屋市千種区）
      - 県内のがん医療における中核的医療機関として、研究所の機能を生かしながら高度で先進的ながん医療を提供しています。
      - 都道府県がん診療連携拠点病院として、医療従事者に対する研修やがん情報の提供などにより県内のがん医療の均てん化を図るとともに、がん医療水準の向上に努めています。
    - イ 県がんセンター愛知病院（岡崎市）
      - 地域がん診療連携拠点病院として三河地域におけるがんの中核的役割を果たし、高度で良質ながん医療の提供に努めています。
      - 緩和ケア機能の充実・強化に取り組み、入院から外来そして在宅に至るまでの緩和ケアに対応しています。
      - 結核・感染症医療、へき地医療支援、2次救急などの政策的医療にも取り組んでいます。
  - (2) 県精神医療センター（名古屋市千種区）
    - 民間の医療機関では対応が困難な患者を中心に受け入れ、先進的な精神科専門医療を提供しています。
    - 県内の精神科病院が輪番制で夜間・休日の精神科の救急患者に対応している「精神科救急医療システム」の後方支援病院としての役割を担っています。
    - 県内の精神科医療の先進的かつ中核的医療機関としての機能を果たすため、老朽化が著しい施設の全面改築を進めておりましたが、平成28

#### 課 題

- 県立病院は、他の公立病院や民間病院等との適切な機能分担を図るとともに、一層の病診・病病連携や在宅医療に向けての取組が求められています。
- 県内のがん医療における中核的医療機関として、更なる機能の充実・強化が求められています。
- がん克服に向けた研究を促進し、他の医療機関や関係大学、産業界等との連携を強化することが求められています。
- 三河地域の地域がん診療連携拠点病院として、地域におけるがん診療の連携・支援やがん医療水準の引き上げが求められています。
- 県指定の地域がん診療拠点病院である岡崎市民病院と、がん医療の更なる向上を目指す連携が求められています。
- 緩和ケア病棟を持つ病院として、三河地域全域の緩和医療の中心的な役割を担うことが求められています。
- 保健・医療・福祉機関・地域との連携に努めながら、県内の精神科医療の先進的かつ中核的病院として、高度な精神科専門医療の提供の充実・強化が求められています。
- 患者の地域移行を円滑に進めるため、看護師だけでなく多職種で訪問支援する取組（ACT）の一層の充実・強化が求められています。

年2月に一部開棟し、平成30年2月には全面開棟しました。全面改築に合わせて機能の見直しを行い、精神科救急医療や医療観察法患者への対応、児童青年期の患者に対する専門病棟の整備など高度な精神科専門医療を提供しています。(予定を含む)

(3) 県あいち小児医療センター(大府市)

- 保健部門と医療部門を併せ持つ県内唯一の小児の専門病院として、多くの小児専門医を擁し、高度で先進的な小児医療を提供しています。
- 3次小児救急医療を提供するための施設を平成28年2月1日に開棟し、同年3月には東海3県で初となる「小児救命救急センター」の指定を受け、小児3次救急を本格的に実施しています。  
さらに、新生児医療に対応するため、本館の改修工事を行い、平成28年11月から周産期部門の診療を開始しました。
- 保健部門では、市町村保健センター等の関係機関や医療部門と連携し、健康や発達の問題を抱える子どもの相談や医療関係者に対する教育・研修などを行っています。

(4) 県コロニー中央病院(春日井市)

- 県コロニー中央病院は、心身の発達に重大な障害を及ぼす各種疾病の総合的な診断・予防・治療及び重症心身障害児・者医療を提供し、障害のある方とその家族を支援する専門医療機関としての役割を担っています。
- 地域で生活する障害のある人達を支援する拠点施設とするため、平成19年3月に再編計画を策定し、平成28年3月にはリハビリセンター棟、平成28年7月には重心棟が開棟しました。  
さらに、平成28年12月には本館棟建設工事に着手し、全面開所に向けた整備を進めています。

4 市町立病院の状況

- 県内には、市町立病院が27病院あり、救急医療等の機能を担っています。(表1-2-1)
- 市町立病院は、救急、へき地医療など採算性の確保が難しい医療を担っていることから、市町立病院の多くが経営問題を抱えています。
- また、平成16年に始まった新臨床研修医制度等による病院勤務医師不足の深刻化により、従来からの経営問題ばかりでなく、診療体制の縮

- 多くの小児専門医を擁する小児専門病院の特質を活かした、高度で先進的な小児医療の提供が求められています。
- 重症患者相談システムや救急車搬送システムを本格的に運用するなどにより、小児3次救急ネットワーク体制の強化が求められています。
- 健康や発達の問題への対応、児童虐待防止など、子どもと家族のための保健部門の機能の充実・強化が求められています。

- 地域医療への支援と心身の発達障害に関する医療ネットワークづくりが求められています。

- 各市町立病院は、「新公立病院改革プラン」を着実に実行することが求められます。

小を余儀なくされる状況もあります。

- 総務省においては、①経営効率化、②経営形態の見直し、③再編・ネットワーク化、④「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」という視点から「新公立病院改革ガイドライン」を示し、それに基づき各市町立病院は平成 28 年度に「新公立病院改革プラン」を策定しました。

#### 5 その他の公的病院の状況

- 県内には、その他の公的病院として、日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、愛知県厚生農業協同組合連合会の開設する病院が 12 病院あり、救急医療、へき地医療等の機能を担っています。

#### 【今後の方策】

- 県コロニー中央病院については、発達障害を含めた障害児・者の地域生活を支援する発達障害医療ネットワーク及び重心療育ネットワークの拠点として整備を進めます。

資料

**【市町村立病院の現況と今後の展望】**

1 現況

- 県内には、全ての医療圏に27の市町立病院があり、病床規模別には、500床以上の大病院が約3割を占めるなど、比較的規模の大きな病院が多い現状となっています。
- 医療機能については、救急医療、がん診療拠点病院等がありますが、市町立病院については表1-2-1のとおりであり、多くは地域における基幹的な医療機関となっています。

病床規模	～99床	～199床	～299床	～399床	～499床	500床以上	計
病院数	3	4	2	4	5	9	27
構成比%	11.1	14.8	7.4	14.8	18.5	33.3	100

2 今後の展望

- 総務省においては、①経営効率化、②経営形態の見直し、③再編・ネットワーク化、④「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」という視点から「新公立病院改革ガイドライン」を示し、それに基づき各市町村立病院は平成28年度に「新公立病院改革プラン」を策定しましたので、その着実な実行が求められます。

表1-2-1 県内の公的病院等一覧（平成28年10月1日現在）

医療圏	所在地	施設名	病床数	救命救急センター	二次 輪番	災害拠 点病院	へき地医療 拠点病院	周産期 医療体制	がん診療連携 拠点病院等	地域医療 支援病院
名古屋・尾張中部	中区	(国)名古屋医療センター	740	○		○			○	○
	守山区	(国)東尾張病院	233							
	名東区	(国)東名古屋病院	468		○					
	千種区	県精神医療センター	342							
	千種区	県がんセンター中央病院	500						◎	
	千種区	市立東部医療センター	498		○	△				○
	北区	市立西部医療センター	500		○	△		○	△	○
	北区	名古屋市重症心身障害児者施設	90							
	瑞穂区	市立総合リハビリセンター	80							
	緑区	緑市民病院	300		○					
	名東区	市厚生院	204							
	南区	中京病院	663	○		○			○	○
	港区	中部労災病院	621		○	△			△	○
	中村区	第一赤十字病院	852	○		○		◎	○	○
	昭和区	第二赤十字病院	812	○		○		◎	○	○
	昭和区	名大附属病院	1035			△		◎	○	
瑞穂区	名市大病院	808	○		○		◎	○		
西区	県済生会リハビリ病院	199								
西区	県青い鳥医療療育センター	170								
海部	津島市	津島市民病院	440		○	△				
	あま市	あま市民病院	180							
	弥富市	厚生連海南病院	540	○		○		○	○	
尾張東部	瀬戸市	公立陶生病院	701	○		○		○	○	○
	尾張旭市	旭労災病院	250		○					
尾張西部	一宮市	一宮市民病院	584	○		○		○	○	○
	一宮市	木曾川市民病院	138		○					
	稲沢市	稲沢市民病院	320		○					
	稲沢市	厚生連稲沢厚生病院	300		○	△				
尾張北部	春日井市	県コロニー中央病院	295							
	春日井市	春日井市民病院	562	○		△			△	○
	小牧市	小牧市民病院	558	○		○		○	○	○
	江南市	厚生連江南厚生病院	684	○		△		○		
知多半島	大府市	国立長寿医療研究センター	383							
	大府市	県あいち小児医療センター	200	○	※小児救命救急センター			⊖		
	半田市	市立半田病院	499	○		○		○	○	○
	常滑市	常滑市民病院	267		○					
	東海市	公立西知多総合病院	468		○	△				
美浜町	厚生連知多厚生病院	259		○	△	○				
西三河北部	みよし市	みよし市民病院	122		○					
	豊田市	厚生連豊田厚生病院	606	○		○			○	
	豊田市	厚生連足助病院	190		○		○			

公的病院等の役割を踏まえた医療機関相互の連携のあり方

医療圏	所在地	施設名	病床数	救命救急センター	二次 輪番	災害拠点病院	へき地医療 拠点病院	周産期 医療体制	がん診療連携 拠点病院等	地域医療 支援病院
西三河 南部東	岡崎市	県がんセンター愛知病院	276		○		○		○	
	岡崎市	岡崎市民病院	715	○		○		○	△	○
	岡崎市	三河青い鳥医療療育センター	140							
西三河 南部西	碧南市	碧南市民病院	320		○					
	西尾市	西尾市民病院	400		○	△				
	安城市	厚生連安城更生病院	749	○		○		◎	○	○
東三河 北部	新城市	新城市民病院	199		○	△	○			
	東栄町	東栄病院	40		○		○			
東三河 南部	豊橋市	(国)豊橋医療センター	388		○	△				
	豊橋市	豊橋市民病院	800	○		○	○	◎	○	○
	豊川市	豊川市民病院	558		○	△	○			
	蒲郡市	蒲郡市民病院	382		○					
	田原市	厚生連渥美病院	316		○					

注：① 本計画における「公的病院等」は、平成 15 年 4 月 24 日付け医政発第 0424005 号厚生労働省医政局長通知「地域における公的病院等を含めた医療機関の機能分担と連携の確保への協力依頼について」に定める病院を対象としています。

② 救命救急センター

この表以外に、掖済会病院、藤田保健衛生大病院、総合大雄会病院、トヨタ記念病院、刈谷豊田総合病院、高度救命救急センターとして愛知医大病院が指定されています。

③ 災害拠点病院

○…地域中核災害医療センター

△…地域災害医療センター

この表以外に、基幹災害医療センターとして藤田保健衛生大病院、愛知医大病院、地域中核災害医療センターとして掖済会病院、総合大雄会病院、トヨタ記念病院、刈谷豊田総合病院、地域災害医療センターとして名古屋記念病院が指定されています。

④ 総合母子保健医療センター

◎…総合周産期母子医療センター

○…地域周産期母子医療センター

この表以外に、地域周産期母子医療センターとしてトヨタ記念病院が指定されています。

⑤ がん診療連携拠点病院

◎…都道府県がん診療連携拠点病院

○…地域がん診療連携拠点病院

△…がん診療拠点病院

この表以外に、地域がん診療連携拠点病院として藤田保健衛生大病院、がん診療拠点病院として掖済会病院、名古屋記念病院、愛知医大病院、トヨタ記念病院、刈谷豊田総合病院が指定されています。